

## 粉末培地

品名	製品コード	包装	希望納入価	使用法
高圧蒸気滅菌可能 L-グルタミン・炭酸水素ナトリウム 不含 <b>R P M I 1 6 4 0 培地</b> 「ニッスイ」② RPMI 1640 Medium “Nissui” ②	05918	100g	6,000 円	本品 10.2g を蒸留水に溶解し、全量を 1,000mL とする。培地が完全に溶解したのち 121℃で 15 分間高圧蒸気滅菌する。高圧蒸気滅菌後、室温まで冷やした培地に、別に気密状態で高圧蒸気滅菌しておいた 10%炭酸水素ナトリウム水溶液適量を加える(18~30mL を加えた場合、5%CO <sub>2</sub> ガス下、37℃での pH は 7.1~7.4)。すぐに使用しない場合は、密栓して冷暗所(2~10℃)に保存する。使用前に、別にろ過滅菌した L-グルタミン 0.292g を加える。目的に応じて適量の血清を加える。 <b>注意</b> 本品は、L-グルタミンおよび、炭酸水素ナトリウムを含んでいない。
組成			摘要	
10.2g (1L 分) 中 塩化ナトリウム……………6,000mg 塩化カリウム……………400mg 硝酸カルシウム(四水和物) ……100mg 硫酸マグネシウム(無水) ……48.84mg リン酸二水素ナトリウム(二水和物) ………………880mg ブドウ糖……………2,000mg コハク酸……………46mg コハク酸二ナトリウム(無水) ………………98.85mg L-アルギニン塩酸塩……………240mg L-アスパラギン(一水和物) ……56.8mg L-アスパラギン酸……………20mg L-システイン塩酸塩水和物 ………………72.9mg L-グルタミン酸……………20mg グルタチオン……………1mg グリシン……………10mg L-ヒスチジン塩酸塩水和物 ………………20.3mg L-ヒドロキシプロリン……………20mg L-イソロイシン……………50mg L-ロイシン……………50mg L-リジン塩酸塩……………40mg	L-メチオニン……………15mg L-フェニルアラニン……………15mg L-プロリン……………20mg L-セリン……………30mg L-トレオニン……………20mg L-トリプトファン……………5mg L-チロシン……………20mg L-バリン……………20mg D-ビオチン……………0.2mg パントテン酸カルシウム……………0.25mg 塩化コリン……………3mg 葉酸……………1mg myo-イノシトール……………35mg ニコチン酸アミド……………1mg ρ-アミノ安息香酸……………1mg ピリドキシン塩酸塩……………1mg リボフラビン……………0.2mg チアミン塩酸塩……………1mg シアノコバラミン……………0.005mg フェノールレッド……………5mg 別に添加すべきもの 炭酸水素ナトリウム……………適量 L-グルタミン……………292mg	R P M I 1640 培地「ニッスイ」②は、 <u>Roswell Park Memorial Institute</u> の Director である Dr. George E. Moore によ って研究開発された浮遊培養用培地の処 方に従って弊社が特殊な製法により調合 作製した高圧蒸気滅菌可能な粉末培地で ある。 本培地は、マウスやヒトの白血病細胞の初 代細胞や株細胞に使用されるほか KATO- III細胞(印環細胞がん)を始め多くの人が ん細胞の培養にも用いられている。 <b>貯法</b> 本培地粉末は、密栓して乾燥した冷暗所 (2~10℃)に保存。 <b>使用期限</b> 製造後 1 年間。		

SD1810A